

会 議 概 要

●開催概要	
名 称	第1回 西蒲区 新バスシステム説明会
日 時	平成25年6月7日 午後7時から午後8時30分
場 所	巻地域保健福祉センター 多目的ホール
説明者	新潟市副市長、技監、都市政策部長、新交通推進課、都市交通政策課 新潟交通株式会社
参加者	21名
●会議内容	
<p>(1) 新バスシステムについて（新潟市説明）</p> <p>(2) 提案内容について（新潟交通株式会社説明）</p> <p>(3) 質疑・応答 ★発言者 ○新潟市発言 ●新潟交通株式会社発言</p> <p>★発言者1（女性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟交通は今回の説明でサービス、サービスと言っているが、障がい者の人は、不親切だとか、乗り換えが大変だとか言っていた。説明会では障がい者の方の発言が止められ、悲しい顔をしていた。ある説明会に出ていた人も、新潟交通に何回も文句を言ったが、返事がなかったと言っていた。ちゃんと上に伝わっているのか。 ・2年前に久しぶりにバスに乗った。乗るときにバスカードを入れたが、整理券も取ってしまった。降りるときに整理券を入れたら「それ取らんたっていいんで！！」と怒られた。ひどい言い方をされた。サービス向上と言っているながら、サービスは良いのか？全くなっていない。 ・どこへ行っても反対しても強硬に進める。失敗したときに誰が責任をとるかということも答えない。 <p>●新潟交通株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月4日の東区での説明会で発言が止められてしまった件と思うが、名前をもらっていたので、翌日その人にお会いし発言の内容を聞いた。予約していたが運転手が見落としのため乗れなかったということであったため、謝罪した。車いすを利用されている方で、機材の固定などに不慣れな乗務員が増えたとのことであった。今後はこのようなことがなく対応できるよう徹底していきたい。 <p>★発言者2（男性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗り換え場所はどこか。県庁・市役所に行きたいと思ったら、今は車で行っている。BRT にたどり着くまでの交通状況、利便性に対する不安がある。 ・連節バスについて、東大通りや古町などは交差点が大きく、通過に時間がかかると思う。右折は少ないだろうが、他の交通の妨げになるのではないかと不安がある。 <p>○新潟市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西蒲区から新潟市中心部に向かうとなると、JR 越後線だと思うが、例えば古町に行く場合は白山駅から、万代に行く場合は新潟駅から BRT に乗り換えて 	

いただくことになる。バスとバスとの乗り換えについては、青山と市役所にターミナル機能を持たせ、利用してもらう環境を整えていく。

- ・他の交通の妨げというところについては、平成 26 年度の導入時は現在のバス優先レーンを使って運行することとなり、渋滞への対応は既存の規制のなかで対応していくこととなるが、おっしゃるとおり、古町では右折が少なく、中央レーンを走った方が安全性は高いと考えている。他の車に与える影響を調査し、渋滞についても対応していきたい。

★発言者3（男性）

- ・バスカードがなくなり、回数券だけになるが、車を持っていないので不便。「りゅーと」を導入して欲しい。予定はあるか。

●新潟交通株式会社

- ・バスカードと回数券は6月に販売終了、9月に利用終了となる（新潟交通本社管内）。「りゅーと」の導入については IT 設備投資が必要となるなどの理由から現時点では難しく、見通しが立っていない状況。グループ会社の新潟交通観光の回数券は今後も利用可能。

★発言者4（男性）

- ・乗り換えがネック。そのつど切符を買って乗り換えになるのだろうが時間のロス。
- ・高速バスは従来どおりなのか。
- ・JR を利用しようとする人は、今後は郊外から JR 駅へ、バスを利用することになると思う。駅まで車で行く人は駐車場がない。巻駅にはない。駅まで来るバスの本数の確保か、駐車場の整備が必要。
- ・JR 越後線の増便社会実験をしているが、利用しにくい状況だ。利用状況について具体的な数値を教えてください。

●新潟交通株式会社

- ・高速バスについては従来どおりとなる。
- ・乗り換えについては、間違いなく発生することとなるが、できる限り不便さを軽減するよう、市と協働で施設環境の整備に努めていく。料金についても、「りゅーと」を利用することで料金が高くないしくみを整備していくため、ぜひ「りゅーと」を活用して欲しい。
- ・これまでは各地から中心地まではバスで輸送する形だったが、バス路線再編にあわせ、いろいろな交通手段を組み合わせることでコーディネートしていきたい。

○新潟市

- ・JR 越後線は署名をいただき、昼間の6便を増便した。1日 350 人の利用者増を目指して進めているが、なかなかうまくいっていない。通勤・通学の利用者が減り、一般利用者が増えている。巻駅、越後曾根駅、越後赤塚駅に向かうバスを1日 14 便増やすなど努力しているが、なかなか鉄道利用者の増加には繋がらない。今後もPRなど利用者増に向けた取り組みをやっていく。

- ・ 駅の駐車場整備も重要と考えており、巻駅には社会実験として 20 台のパークアンドライド用駐車場を用意した。現在は満杯となっている。時間貸しの駐車場の整備も課題と考えている。

○新潟市

- ・ 最初の失敗したときに誰が責任を取るのかという質問だが、持続可能な公共交通を目指し BRT の取り組みを進めていく。やめるとか失敗するなどとは考えていない。5 年ごとに新潟交通と協定を結び、また、結節点の整備を進めるなど、一步一步進めていく。

※ 説明会で出していただいた意見の他、説明会終了後に提出していただきましたアンケートで、以下のようなご意見をいただきました。

- ・ 現在、中央区から西区へ通勤しているが、現行との乗車時分の差がどれくらいになるのか。
- ・ 西蒲区のローカル線では、これまでバスカードが使用できたが、9月 30 日～使用不可になる。中央区にいる時と西蒲区でバスカードは、共通使用出来たが、それが出来なくなる。IC カード「りゅーと」を使用できるようになれば便利になる。費用がかかると言っているが、自治体の補助などで交通のバリアフリーをお願いしたい。
- ・ JR 越後曽根エリアに住んでいる。良く JR 新潟駅から市内のバスを利用している。JR 駅などの公共交通の整備が必要と考える。
- ・ BRT のバス停の数がどの程度作られるのか。
- ・ 途中のバス停の乗車時の利便性がどう変わるのか（混雑時の状況）
- ・ 左側と中央の通行の違いについては、よくわからなかった。
- ・ バスレーンにはバスだけを通し、他の車はバスレーンに走らせないようにすれば良いこと。新潟交通も市もサービス業でありながら、市民に対し、優しさ、温かさ、豊かさ、安心は全くなく親切さもなく信頼できない。
- ・ BRT を通したとしても乗る人はほとんどいないと思う。新潟交通のサービスが悪いのに乗りたくはない。無理やりは必ず失敗する。
- ・ ほとんどの市民が BRT を反対しているのだから、高額な税金を使って走らせるということは白紙に戻し、もう一度アンケートを市民すべての方から取り、考え直すべき。